

エコアクション 21 地域事務局 ECO-KEEA (エコケア) 九環協の取組

永津 龍一 *

持続可能な社会を実現するためには、大量生産、大量消費、大量廃棄型の社会システムや多消費型のライフスタイルを見直し、天然資源の消費を抑制し環境への負荷ができる限り低減される循環型社会を目指していかなければなりません。このためには、社会を構成する企業や市民、行政などあらゆる主体が適切に役割分担しつつ、連携、協調しながら一体となって環境配慮のための取組を進めていく必要があります。特に、企業は、その活動規模が大きく環境への負荷も大きいことから、企業としての健全な活動を損なわないようにしつつ、企業活動そのものをできるだけ環境に配慮したものへと転換していくことが求められています。

こうした企業活動における経済面と環境面を統合し、総合的に企業価値を高めていくための有効なツールとして、環境省が策定したエコアクション 21（以下「EA21」という。）があります。九環協は、この EA21 の地域事務局の指定を受け、事業者の EA21 の認証取得のための取組支援や普及促進に努めています。

1 EA21 の意義

EA21 は、企業などの団体が、環境に関する方針や目標を自ら設定し、これらの達成に向けて取り組み、その取組結果を確認、評価し、更にこれを見直して継続的に改善を行っていくための環境マネジメントシステムです。

EA21 に取り組み、様々な改善を行うことにより、企業活動に伴う環境への負荷を最小化することはも

ちろん、省資源化や省エネルギー化などに伴い経費の節減が図られることとなります。また、組織内部の管理も効率的に行われるようになり、環境関連法規の遵守をはじめ企業としてのコンプライアンスも向上します。更に、消費者や取引企業からも環境に配慮した企業としての評価を得ることができ、企業イメージの向上によるビジネスチャンスの拡大が期待できます。

2 九環協の取組

九環協では、平成 17 年 9 月に地域事務局の指定を受け、EA21 の認証・登録の手続きを行っています。具体的には、認証・登録を希望する事業者から審査申込書を受け付け、審査の要件に適合しているかどうかを確認します。そして、受審事業者の業種、業態及び規模を考慮し、最も適切と判断される審査人を選任します。審査が終了し審査人から審査報告書を受領した後、重層的にチェックを行うため、学識者等で構成する地域判定委員会において認証・登録の可否を判定します。

九環協が行った認証・登録事業者数は、発足当初は少数であったものの、その後着実に増加しています。平成 24 年度においては、こうした認証・登録に係る地域事務局の運営に加え、次のような業務を実施しました。

(1) 自治体イニシアティブ・プログラム

EA21 を構築し審査人の審査を経て認証・登録を得るには、EA21 ガイドラインの要求事項を体系的

* エコアクション 21 地域事務局 ECO-KEEA 九環協 事務局長



写真1 導入セミナー風景（自治体）

に理解し、このガイドラインに即して段階的にシステムを構築していくことが有効です。このため、九環協では、自治体と連携してEA21ガイドラインの解説等を行う導入セミナーとシステム構築のための集合コンサル（全5回）をセットにした、無料の「自治体イニシアティブ・プログラム」を実施しています。

平成24年度は、福岡県・福岡市と連携したプログラムに37社が参加され、佐賀県と連携したプログラムには9社が参加されました。

（2）関係企業グリーン化プログラム

自治体イニシアティブ・プログラムと同様、関係企業団体向けに導入セミナーと集合コンサルをセットにした無料の「関係企業グリーン化プログラム」を実施しています。平成24年度は、あいおいニッセイ同和損保の長崎支店及び福岡支店においてそれぞれ5社及び8社の参加を得て実施しています。また、物流ネットワーク福岡協働組合において6社の参加を得て実施しました。

（3）地域判定委員会の拡充

地域判定委員会は、EA21の認証・登録制度の公平性、信頼性を確保するうえで重要な役割を担っています。一方で、近年、認証・登録の判定件数が大きく増加していることから、平成24年度、地域判定委員会を2班体制とし、判定委員を3名から6名



写真2 集合コンサル風景（企業団体）

へと拡充しました。

（4）フォローアップ研修

EA21認証・登録事業者の中には、効果的な取組を進めるうえで様々な悩みを有しているとの声も聞こえています。このため、平成24年度、認証・登録済みの事業者を対象としたフォローアップセミナーを初めて開催しました。39社が参加され、講演に引き続き個別相談会を実施しました。

表1 認証・登録事業者数の推移

年度	事業者	累計数
平成18年度	3	3
平成19年度	10	13
平成20年度	21	34
平成21年度	44	78
平成22年度	62	140
平成23年度	45	185
平成24年度	63	248

3 今後の取組

（1）入札参加資格制度の改正等

平成24年度、福岡県においてEA21の取得が入札参加資格審査で有利になる制度が実現しました。福岡県の取組に感謝するとともに、こうしたEA21取得に伴うメリットが制度的に担保される仕組みが広がるよう、中央事務局等とも連携し必要な取組を進めます。

(2) 審査人の養成

近年、審査人1人あたりの審査件数は大きく増加しており今後も増加が見込まれます。審査人は、環境に関わる幅広い知識と経験を持つ有資格者であり、必要な時に直ぐに増やすことはできません。このため、事務局では環境に関わる有識者とのネットワークが豊富な母体団体とも連携、協力し、今後その養成に努めてまいります。

いるものの、制度の一層の信頼性や審査の質の向上といった観点からは、不断に制度改善の検討を進めていくことが期待されています。現在、中央事務局において制度改善の検討が進められており、九州・沖縄ブロックにおいても具体的なフィールドを活かした検討が要請されていることから、今後も適切な改善に向け九州・沖縄ブロックの協議に参加していきます。

(3) EA21 制度の改善(九州・沖縄ブロック)

EA21 認証・登録制度は発足以来順調に推移して



ゲンジボタル

成虫の寿命は1～2週間。水辺にふわりと浮かぶ光は幻想的。